

都内商店街の商店街支援施策への要望調査結果について

2012年3月14日

日本共産党都議団

調査目的

都内商店街にたいして、都の商店街振興施策について、その改善要望を中心に把握するとともに、買い物弱者問題、後継者問題、大型店問題などにどのような取り組みを進めているのかを把握し、都の商業振興施策の課題を明らかにする。

調査対象と回答

都内の16区・10市の約1400商店街から81の回答

調査期間

2012年1月末～2012年2月末

結果概要

商店街支援事業について、「自己資金が少ない」「手続きが負担」を理由に、活用したことがない商店街が約8%（利用したことがない商店街では70%になる）ある。利用したことがある商店街でも、「事業の契約から補助金受け取りまでの間の立替え」（35%）、「地元負担の軽減」（26%）と資金負担の軽減を求める声が多数あった。

商店街支援事業の改善して欲しい点は、要望が強い順に、「実績報告の簡素化」（52%）、「申請手続きの簡素化」（45%）で手続きの簡素化がトップである。その他、「適用要件の緩和」（33%）、「補助金決定までの迅速化」（30%）、「複数年にまたがる活用を可能にする」（27%）、「受付時期の随時化」（24%）などとなっている。

商店街街路灯の電気料金負担問題では、区市町村と商店街の負担にたいして、「都も負担して欲しい」との商店街が86%にのぼった。街路灯の最小契約電力が変更できることを知らなかった商店街も61%を占めた。

買い物弱者支援を取り組んでいる商店街は、「宅配サービス」など26%ある。

後継者問題が大きな課題になっているが、独自に支援事業に取り組んでいることは18%である。

大型店出店問題は、意見を寄せていただいた商店街は54%と、非常に関心が高い。大型店の集客能力を商店街として活用するなど「共生」の方向の取り組みをしている商店街が11%ある一方、45%が「共存共栄などあり得ない」との声を寄せた。

以上

都内商店街の商店街支援施策への要望調査結果

2012年3月14日

日本共産党都議団

(1) 商店街の立地環境について

住宅街	駅前、中心市街地	団地内	その他
23	44	2	18

* 複数で回答した商店街あり

(2) 組織形態とそれぞれの苦勞について

法人化されている

はい	いいえ
34	41

法人化されている場合の苦勞

税金が負担	特にメリットない	登記事項変更	その他
11	10	7	10

その他の中には、財政的負担を上げている内容が、4商店街あり

任意団体（未組織）の場合に、法人化の予定について

あり	なし
2	43

その場合の苦勞

商店街としての契約が、会長等の個人としてせざるを得ない	情報が不足	その他
6	0	9

その他、商店街としての商店の減少など困難さを、3商店街が具体的にあげている。

(3) 都や区の商店街支援事業について

活用したことがありますか。

はい	いいえ
70	6

活用したことがない理由、活用しなかった時の理由

自己資金が少ない	申請が間に合 ない	手続きが負担	その他
3	0	2	4

その他には、必要がないとした商店街が2件。自費でLED化が1商店街。

改善してほしい点がありますか（複数回答）

申請手続 きの簡素化	実績報告 の簡素化	補助金決 定までの迅 速化	事業の契約か ら補助金受取り までの間の立て 替え	受付時期の 随時化	適用要件 の緩和
30	34	20	23	16	22
地元負担 金の軽減	事業の継 続化	複数年に またがる活 用を可能に する	受付案内か ら申請締切が 短い	支援事業の 内容が分りに くい	その他
17	12	18	7	3	7

その他には、問題を上げている。主には、「イベント事業数が制限」、「支援事業のPRがない」、「申請手続き、実績報告が大変」、「申請時期が早すぎる」、「LED化の負担金が多い」など

ニーズにあった支援事業がない

はい	いいえ
7	34

ニーズに欠けているもの

経常的事業への助成。 時代の変化に対応できるような新規事業。 助成金。 人の活用につながる援助など。

(4) 専門家を無料で派遣する事業について

大変良いことと思う。(賛成など同様の意見(3商店街) 機会があれば利用し

たい)

具体的な改善を求める声(商店街支援事業に関して実務的にやってほしい、 数年の派遣をお願いしたい。 様々実行したが、不況打破は無理だった。 人数の関係で単会でやるのが難しい)

現在使っている(時々も含め 4 商店街、 街づくりで派遣してもらっている)
専門家の資質について言及し、役立つ専門家を要望(評論家ではなく本当の専門家を、受ける側の立場で呼べるようにする、 専門家の意見に惑わされることが多い。実績を積んだ人が必要、 専門家によるが希望はある、 あまり役に立たない、 実態に合わない指導が多く、実績があったとは感じられなかった、 本当に現場に居住してアドバイスをいただけるなら歓迎、 商工会議所、市などの専門家が役に立たない、 専門家でなく地域の学生や OBOG を活用する道筋を、 専門家のアイデアの中に真新しいものもなく、現実的なものもない。)

必要ない。(小規模な商店街であるから、 専門家を必要とする大型事業の予定はない、 特にいらない(2 商店街) 区商連で行っている、 中小企業振興会社などセクターはあるが果たして機能しているか。

(4) 商店街活動の人材育成に対する支援について

良い制度と思う(3 商店街) 会員数の減少が続いているので必要。 意欲のある人に対する支援が必要。 内容が分かれば活用したい。

時々利用している、 商人セミナー経営学校などに参加している、 区商連で行っている

制度の問題点・改善点について(個々の経営に関与することは難しい。 商店街はすべて内容が違う。 リーダー塾などが日中に開催されるので参加できない。

1 人店主では出席できない。 時間がない。 指導者の育成を支援する人材派遣を。

若手が参加したくなる政策が必要(3 商店街)。 後継者、ベンチャーにもっと取り組んでほしい)

必要なし(12 商店街(「小さい商店街」「人材がない」「余裕がない」を理由とするケースが多い))

大学生など若手もいるが、自己の利益を追求するあまり協力できない。

(4) 商店街活動の企画立案などの相談・支援について

活用している。(6商店街) 中小企業診断士の支援をいただいている(2商店街)
区から支援してもらっている(2商店街)など)

必要がある(3商店街)

具体的な要望を上げている13商店街。(専門家の大きな企画でなく、個々の商店会にあった活動の支援がほしい、 他の会の成功例など、多くの情報がほしい(4商店街) 商店街の長所短所に対応できる支援策がほしい。 指導者の育成を支援する人材派遣を。 PRのマスコミ対応支援が必要。 少子高齢化対策に対する企画立案がほしい。 小さい組織を優遇してほしい。 レベルのしっかりした専門家をお願いできるNPO 会社がほしい。 相談相手はほしい(2商店街))

必要なし(5商店街)(この点は内部勢力、自助しかない、 小規模な商店街であるから必要なし、 商店会は活動が大変

まだ利用していない

(5) 商店街の街路灯について

	はい	いいえ
電気料金は定額契約ですか	39	24
商店街と区市だけでなく都も負担してほしい。	49	8

街路灯のLED化について

	はい	いいえ
電球のみの交換で対応した(できる)	23	15
電柱の交換も必要だった(である)	15	11
LED化をしてから、最小契約電力を引き下げた	9	10
最小契約電力の変更できることを知らなかった	17	11
最小契約電力は現在20Wですが、LED電灯普及にともない、より少ない最小契約電力の設定を希望する	18	3

その他、意見・要望

負担問題の改善を求める声(イニシャルコストが高い、 LED電球が高額すぎ

る、 LED 化をしたくとも資金がない、もっと都区の負担を増やしてほしい。工
事にも補助がほしい。(3 商店街) 補助金を街路灯化の前か同時に支給してほし
い。(2 商店街) 数年来検討を重ねているが費用のため実施せず、電柱の交換
も必要)

LED 化助成の仕組みの改善を求める。(LED 化の予算と時間が短い。昨年の補
助金を知ったときには期限が終わっていた。5 つの商店街全てで同時に LED 化
することで区から補助してもらいたい。二区で一つの商店街だから行政的にも難
しい。基盤内部をいじらないで、そのまま交換できる LED を作ってほしい、
10 年たたないとだめとのこと。後 2 年程度は水銀灯だが、年 5, 6 箇所交換して
いる)

街路灯助成金は望ましい。電灯料を無料にしてほしい。現在使用中の街路灯
維持が大変、都で一括して PPS から電気を買ひ、商店街に分配できないか。

検討中(5 商店街) LED 化済み及び工事中(5 商店街) 補助金申請中
LED 化はしない(商店街)(電球は交換したばかりだから当分交換するつもりは
ない、LED 化は考えていない。商店街の明かりは明るさのみでなく、帰宅者を
やさしく迎える明るさを、現在のところ、防犯カメラ設置の計画。

市の街路灯につき負担なし(2 商店街) 街路灯は地域町会が管理している

(6) 買い物困難者・弱者支援について

商店街として、独自に支援事業に取り組んでいる

はい	いいえ
19	53

取り組んでいること

個店に対応(3 商店街)

宅配等(6 商店街) 無料配達等(2 商店街)・・・「シルバー人材センターと組ん
で宅配」「宅配は採算がとれない」の意見も

無料送迎バスの運行

2012 年度モデル事業で実施

検討中(2 商店街)

バリアフリー、車いす用意、赤ちゃん駅、誰でもトイレ、AED 設置、緑道整備など
(6 商店街)

地域包括支援センターとの協力

古い商店街なので面倒見の良さを持つ策

意見・要望

当商店街にとって最重要ではあるが、個店にまかせている。

現行買い物弱者支援事業は既存事業に支援制度がなく、継続に心配。

町会との連動、連携が必要

どのような支援事業ができるのか分からない

エレベーターエスカレーターにもっと補助を出してほしい

坂の多い道路の狭い住宅地に小型のバスを運行するのに補助は得られるのか

高齢者に対してカード等で割引できるような制度の検討

財政支援を求める声(経費の支援を希望、 アイデアはあるが具体化に検討材料が少なく進まない、 高齢者の方に配達というのが最も取り組みやすいのですが店主の意識改革が必要です。積極的に弱者には支援するための予算付けてください)

(7) 後継者難の中で、商店街機能を維持することについて

商店街として、独自に支援事業に取り組んでいる

はい	いいえ
12	54

取り組んでいること

ほとんどの商店に後継ぎがいる

具体的な取り組み内容を紹介していただいた内容(そのまま)

若手が興味を持つようホームページを開設する等している。

ホームページの内容充実による商店街の魅力アップ、近隣商店街との連携、ソフト面の充実

地元住民と一体でもちつき大会、バス旅行他各種イベントに協力して商店街活

動をおこなっている

若手の交流会、青年活動、外部の若手等と交流をもち色々企画している。

若者を中心に商店街情報誌の発刊をしているが、その支援をしている。

法人化 60 年により店舗のテナント化が進み、2, 3 世との交流を経て委員会の育成、維持している。

景観整備事業に取り組んでいる。結果として出店、承継したくなる地域になっていけばいい。

出店者会という組織を後継者中心に運営、独自の活動を行っている。

会合に出て、話し合いをしている

年に 3, 4 回のイベントに参加

若手塾、後継者の教育、支援

若手層の掘り起こし、研修会等への参加

その他取り組んでいることとしてあげていただいた内容（そのまま）

街づくり会社

二世、三世に店主を継いでもらい、また、大型店の会費納入に関すること
近隣団地の建て替えの長期化とスーパー、ドラッグ等の増加による売り上げ減少と、経営者の商会化で下降気味のため、将来の展望と街路灯維持が心配
当会は役員も 2, 3 世代目であり、組織率も 96%だが、後継者のいない商店の後には必ずチェーン店が入る。チェーン店は入会はするが、イベントのために協力はしない。

ご苦労している声（そのまま）

役員会で議論はない。競争相手との話し合いはできない。

どのように取り組んでよいかわからない

個人の事業主の店舗が極めて少ない

今は特にやっていないが、チャンスがあれば。

先代の苦労から、なかなか話ができない

不景気と家賃で後継者が少ない

その他

地域のための仕事する気持ちは金や支援があるからではなく、世のため人のためだ。

後継者難の中で、今後の事業についての提案

具体例として、商店街機能を維持するために、事業承継を希望する経営者と、事業承継したい起業者をマッチングさせ、事業が軌道にのるまで、金融支援、経営相談、専門家を派遣する。協力できる貸店主にも生活支援事業を都として立ち上げるなど、どうですか。その他、ご提案はありませんか。

例示した提案については、

良い案だ（6商店街）

家賃等で同意が得られればぜひ取り組みたい

金融支援等は良いが店主の考え方を生かしたい。専門家も問題提言は良いがその先を教える人がよい。

我が商店街にも空店舗が増えてます。人口減少、高齢化でマッチングした商売をする方が入ってもすぐやめてしまう。残念です。事業が軌道にのるまで3～5年の生活支援を含めた応援がほしい。また、廃業するお店にはその後に入る業種の事業者を紹介して入っていただきたい。

杉並区が都から援助を受けて上記のことはやってきたが、絵にかいた餅にならないようにと思っている。

その他、寄せられた提案、意見

個別の店舗は個人の人となりがあるから第三者を入れるのはチェーン等しかない。これからの商店街が不安。

有名コンビニ、スーパー等は商店街会員になりたがらない。

空き店舗の後に飲み屋が入ったが協力してくれない。若手がいないので事業を大きくしたくないという意見も多い。

各商店街に合った支援策を。大型店を出店する場合は商店街の将来をよく考えて協力できる方法を行政を含めて考えよ。

空き店舗の改装を支援できる事業をやってほしい

商店街機能をどのような方法で維持できるのか

公社の支援事業をもう少しやりやすくしてもらいたい

小さい商店会を優遇してほしい。

国分寺市は北口再開発事業の遅延状態を改善しないと、北口商店街が全滅しうる。現にサービス業化しており、商店街の態をなしていない。

親子間でも意見が合わないことも多い。

超保守的な風潮のため、新規提案がしづらい。

(8) 大型店の新規出店、共存共栄上の問題について

共存共栄を進めている商店街・・・9 商店街

大型店は集客能力があり、商店街では共生の方向。

品川では大型店と小規模店の連携イベントがある。商店街としても大型店を利用していくべき

大型店と共存して、商店街も来客数は増えているがもっと努力したい。

大型店舗は集客力があるので、よく話し合えばよいこともあるはず

今のところ大型店とのトラブルが無い。大型店が賛助会員となっている。

大型店の出店は構わない。小店舗でできないことをしてもいいが、領域を侵すのはやめてほしい。

2年後に大型モールが完成する予定。進出してくる以上は敵対でなく一緒にイベントなどを取り組みたい。消費者にとって便利な商店街を目指して、商店会に入会することをルールとして確立したい。

準会員として大型店舗に加盟してもらい、会費を徴収し、商店街全体で話し合ったりしている

大型店の出店により売り上げが落ちることもあるが、集客率が上がりうるので一長一短。

「共存共栄などあり得ない」等とする商店街の声・・・19 商店街

大型店が出店したことでやめる店が多い。共存共栄は難しい。

大型店は多くあり、もういらぬ。出店の土地の余地もない。

大型店が出ることは脅威だ。共存共栄を模索し、個性ある店を模索するが不況で個性的な店にも客は行かず、結局安価な大店舗に対抗できない。人口減もあり、商店街も消えるのかも。

庶民の台所のすべてが大型店で賄われているのだから、共存共栄など無理だ。

昭島は大店舗にドーナツ状に囲まれ客の数が年々減っており、共存共栄は無理か。

大型店との共存共栄などない。敵として徹底的に頑張っている。

大型店は協力姿勢が無い

共存は難しい

共存共栄はありえない。(2商店街)

大型店撤退で八王子の商店街が活気をなくした。他の商店街に取られないか心配。

規制緩和のしすぎだ

すでにオーバーストア状態です。結果、個人商店は高齢化や売り上げ利益の低下で閉店が続いています。共存共栄はあり得ない。

大型店はこれ以上必要ないのではないのでしょうか。ドラッグストア、酒店米穀店等が苦勞しています。彼らは土足が入ってきて利益が出なければ、勝手に出てゆきますが、地元の商店は何処にも移転できません。苦境です。

大型店が多く出店され、きれいな道路の陰で古い店舗が行き場が無い。

当地域では大型店は少ないが、中型クラスが多数出店している。

大型店が4,5年で撤退し、跡地の問題がある。駅周辺の商店会、大型店の問題と街道の大型店と問題を区別してほしい。

大型店が取り扱う商品を扱う商店がほとんど閉店し、なくなっている。

大型店が来たら個人商店は廃業させられる。大型店が撤退しても商店は復活できない。

大型店により商店会への客足は遠のいた。価格では太刀打ちできない。大店舗は共存共栄を考えていないから、そこを行政に対応してほしい。

大型店の商店会への協力問題・・・5商店街

共存共栄でやってもらいたい。商店街に加入してほしい。

大型店は数年前まで地元商店会に補助金を出していましたが、2～3年前からカットされてしまいました。

大型スーパー等の商店街に対する経費負担の協力が無いので、条例を制定してほしい。

大型店が商店会に加盟しないケースが多いから義務化するべき

組合に加入しない、置き看板など町の秩序を乱す行為が多い。

大型店でなくチェーン店の問題点としていただいたご意見・・・3商店街

セブンイレブンその他チェーン店が加盟しないのが困る

チェーン店は地域活動への関心が薄い

チェーン店の商店街への未加入問題を政治力で何とかしてほしい。

その他、寄せられたご意見

100%の客でなく、50%の客で営業できる店を作るべき。5, 10年先を考える指導を行政、政治家も考えるべき

組織の維持に日々苦勞。空き店舗もあるが人手もある。各店別の苦勞は多いだろうが、全員で頑張っている。

ロードサイドに大型店の出店ならいいが、大きく離れたところの出店ならば共存共栄が難しい

場所の関係で大型店は出店しづらい。

利便性などで劣っている面をいかにカバーできる魅力とは何かを考え、伸ばすことが必要

吉祥寺まちづくり会社を立ち上げたい

近隣に大型はない

(9) その他、寄せられた意見

大型店舗は地域密着を好まないなので、力にあった活動を続ける。

助成金は使い方により価値を置くべき。買い物弱者支援が重要

都バス等広告代を収入にできるのに、街路灯に広告を出すと補助金がカットされるのはおかしい。

国道に面している商店街なので、地域の活性化のため地域の商店街のイベント等に協力している。

チェーン店などが出店したら必ず商店会に入会するようにできないか。

商店会を守っていくのは難しい時代となった。

電子通貨に反対。地域の通貨の継続を求める

大型店は商店街で大きな利益をあげているのに商店会に入っていないので納得できない。

店主は忙しいのでこういうアンケートはやらないでほしい

時間の取られるアンケートは極力やめてほしい

物品販売が少なく、飲食店中心となっている。テナントで借りるのも飲食店ばかり。

商店街保有の事務所兼用会館を公共の集会所の使用料程度で貸し出しているが採算が取れない。半分公共的なので、固定資産税の免除くらいはほしい。街路灯電気

料金として組合員からの会費に消費税が、その中から街路灯立て替え資金として積み立て分に決算の際に所得税をかけるのは2重課税ではないか。

少ない負担で経営できる若い人や、老人向け事業支援をすればもっと商店が増えていくのでは。

東京都の事業説明会が駆け足で説明されよくわからない。

大店法の規制を廃したのは零細業者に閉店を進めるようなもので、地域の絆の取り戻し、慣れ親しめる商店街を作る必要がある。

廃業した店が立て直し住宅になり、商店街としての町並みが無くなるのが困る。商店街に面する建物にテナントを作るなどの法整備が必要

商店街にコンビニ店が入れば、本屋、酒屋、生鮮食品店等が困り、スーパーが来ると生鮮3品、電気店、生花店も困る。その内、飲食店だけの商店街になるだろう
これ以上消費税が上がると当店は経営が成り立たなくなる

小さい商店街組合で大きなイベントができず、店主の親睦活動が主になっている。しかし、まちの歴史の大半を商店が負っているという自負心は持っている。

地域や商店街の現場を調査して、実情に合った指導がほしい

街路灯、AED 設置、防犯カメラ設置で補助金を受け、助かった。メンテナンスを含めランニングコスト等にも配慮してほしい。

商店街の活性化は手遅れではないか。

補助金の枠が増大しても、商店街の自己負担額を捻出できず活用できない。商店街の支援としては、加入促進、歩行喫煙禁止運動等の手助けなど金より行為が必要
大型店舗がないが、飲食店が90%である。

アンケートをファックス返送でなく、返信用封筒および切手をはり返送させるのがよい

街路灯の交換費用の用意をするうえで、会長、役員等の保証が難しい

規制緩和のために個人商店はもはや限界。個店の経営努力ではどうにもならない。
根本的な改革が必要

空き店舗対策をもっと具体的に提案してほしい。後継者対策をしっかりと協働して事にあたりたい

職住分離した生活環境に問題があるのではないか

消費税が値上げされますが、食品については、消費税を外してほしい。子育て中の

家庭、年金生活者は生活をきりつめなくてはならないので毎日が苦しくなり、大型店のチラシの特売品を求めて地元の商店をナイガシ口にされてしまう。すると廃業をするという悪循環です。

空店舗については入居者の方の入居仕度金（保証料、収利金、家賃、更新料等）を永い月で見て応援してほしい。今日、開店したからすぐお客様がつくということはない。石の上にも3年で、暫く一人歩きが出来るのが中小商店です。そして商店会の会費として盛り上げてくれるのです。あきらめないで商売に励んでもらうためにも都民税、自動車税、区民税の減税も必要だと思います。御検討乞う。商店街（会員）の店の減少は会費の減少にもなる。商店街に余裕がないので、事業の計画実施が出来ない。

サービス介助士という制度をスーパーマルエツでは実施して高齢者や弱者支援として実施しています。地元の商店街にも必要な知識、技能を持つ店員、店主を養成する必要があります。そのような研修の場を持ってもらうようしたら如何ですか。但し店主の意識改革を地道にする努力があるので行政にも努力を乞う。高齢者疑似体験をするなど……。ただし店主も高齢者である場合は無理だが、やってみる価値はあると思う。大型店の良いところは地元の商店街（会）でも見習うべき時はやってみることが必要だ。我に商店街（会）も地元に住むお客を大切にしたいと思っている。

空店舗を絶対に無しにして、お店の数を増やす努力が繁盛する商店街（会）になるので、応援仕度金制度は必要と考える。お互いがよくなるパートナーとして。秩父市みやのかわ商店街はいい例です。

以上